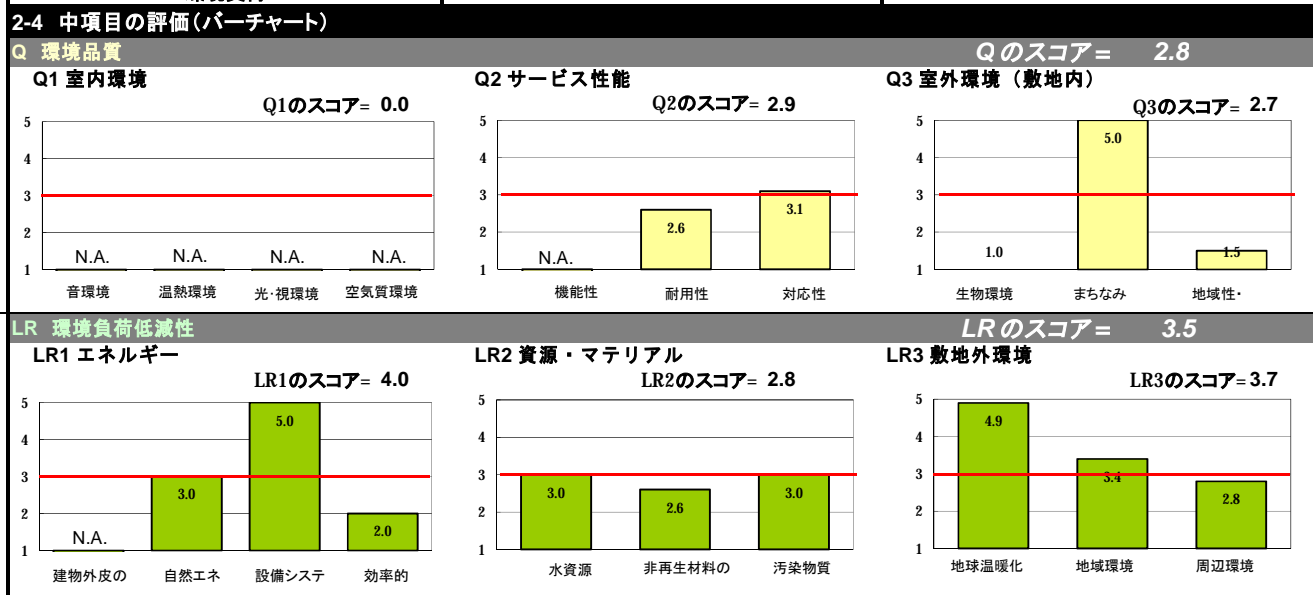
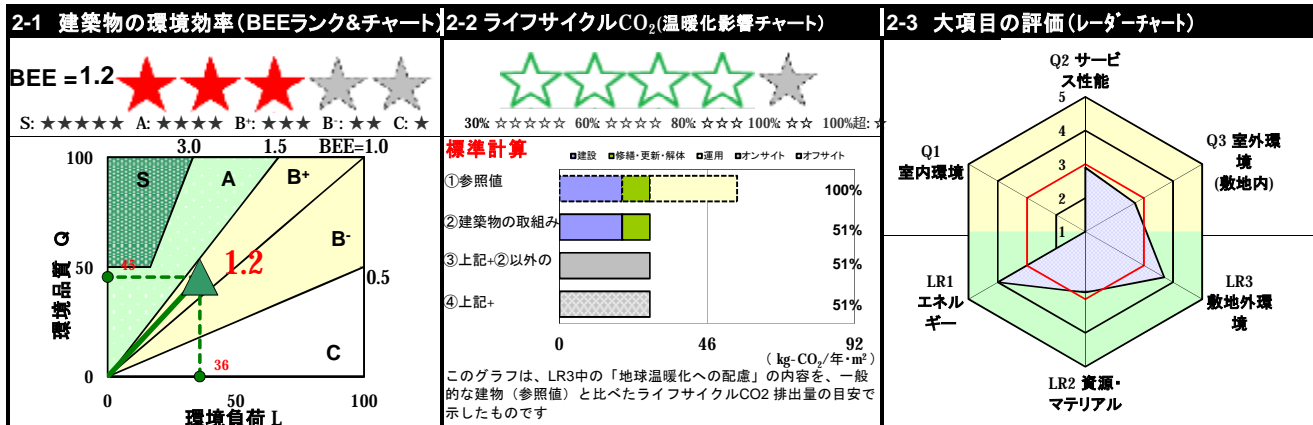


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西名阪自動車道阪奈高速道路事務	階数	地上3F
建設地	大阪府藤井寺市小山	構造	S造
用途地域	準工業地域 準防火地域	平均居住人員	5人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年6月1日
敷地面積	7,525 m ²	作成者	雄健工業株式会社 齊藤孝広
建築面積	1,061 m ²	確認日	2020年6月2日
延床面積	2,977 m ²	確認者	雄健工業株式会社 齊藤孝広



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
施設建設による影響が周辺環境に及ばないよう配慮した。	特になし	
Q1 室内環境 駐車場のみの構成のため、評価対象外。	Q2 サービス性能 空間のゆとりに配慮した。(形状・自由さが大きい)	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に緑化計画を行い、来客者へのアメニティに配慮した。
LR1 エネルギー LED照明を採用する事により、省エネルギーに配慮した。	LR2 資源・マテリアル LED照明を採用する事により、省エネルギーに配慮した。	LR3 敷地外環境 敷地周囲を緑化することで周辺環境への配慮を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0032

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	西名阪自動車道自動車道 阪奈高速道路事務所改築工事 立体駐車場棟						
	建設地	大阪府藤井寺市小山						
	用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						5	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						評価対象外	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.9	5	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					-	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							